

2011.3.5(土) 14:00-17:30

場所：沖縄大学 3 号館 101 教室

シンポジウム

琉球と東アジア文化圏をつなぐもの —「自治」と民際学

基調講演

片山 善博
(総務大臣)

パネリスト

王 柯

(神戸大学・国際関係論)

佐藤 優(作家)

大城 立裕(作家)

松島 泰勝

(龍谷大学・島嶼経済論)

唄と話

海勢頭 豊

(琉球の平和ミュージシャン)

司会

仲地 博

(沖縄大学副学長)

琉球が日本に「復帰」して二〇一一年で三九年となる。その間、琉球は自立に向かって進んだのだろうか。自治は確立されたのだろうか。むしろ振興開発とリンクする形で米軍基地が押し付けられ、国に大きく依存するようになった。普天間基地の「県外移設」という公約も破られ、日本政府は辺野古新基地を建設しようとしている。

琉球はかつてアジア諸国と交易を行った海洋国家であり、東アジア文化圏の諸地域と多くの歴史的、文化的共通性を持っている。民と民との直接的な関係性を重んじる民際学の考えに基づいて、琉球の人々が東アジア地域の自治的自覚をもった人々となつたり、アジアとの間で「ゆいまーる」関係を築くことで、現在、琉球が直面している閉塞状況を打破できるのではないかと。琉球が今抱えている問題を真剣に考え、将来の方向を決めることができるのは琉球人自身である。琉球は東アジア文化圏の中に存在しているのである。国民国家、国境を越えて東アジアにおける自治、民主主義について議論し、琉球のあるべき未来像を提示したい。

※定員 120 人 (事前に申込みが必要です)

お申込み、お問合せ：沖縄大学地域研究所

TEL(098)832-5599 FAX(098)832-3220

主催：龍谷大学社会科学研究所民際学研究会
NPO 法人ゆいまーる琉球の自治



共催：沖縄大学地域研究所

協賛：藤原書店 ウエル・カルチャースクール

アクセス 「沖縄大学前」バス停下車 徒歩 1 分

